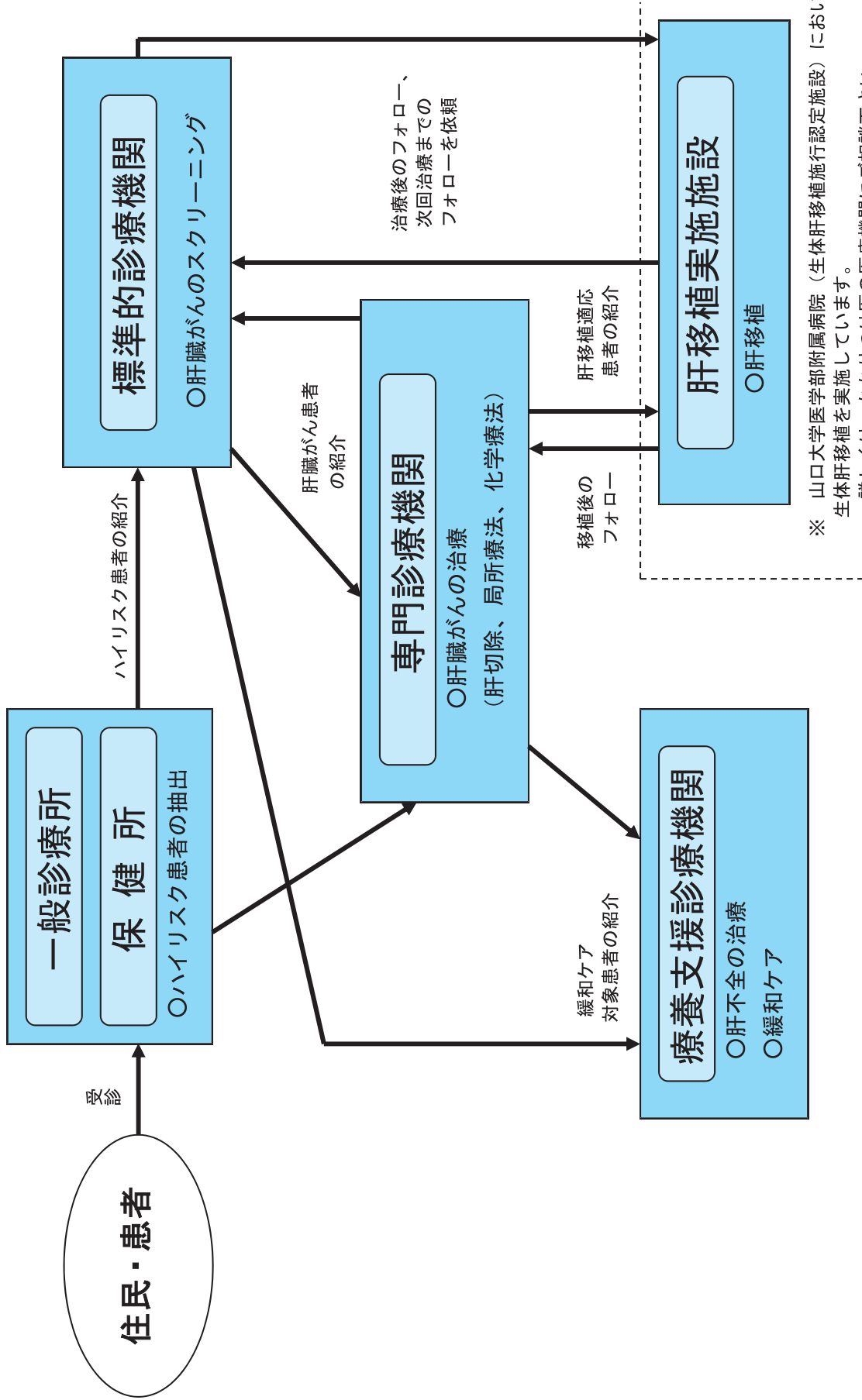


肝臓がんの医療連携体制



※ 山形大学医学部附属病院（生体肝移植施行認定施設）において
 生体肝移植を実施しています。
 詳しくは、かかりつけの医師の医療機関にご相談下さい。

がんの医療機能

胃・大腸がんの医療機能

初期診療（予防・検診）	
機能	○ がんを早期発見する機能
目標	○ 生活指導などがん発症のリスクを低減 ○ 科学的根拠に基づくがん検診の実施、精度管理・事業評価の実施及びがん検診受診率を向上 ○ 胃・大腸がんの早期発見
求められる事項	○ 検診を実施 ○ 初期診療を実施 ○ 検診の結果をフィードバックするなど、がん検診等の精度管理に協力 ○ 標準的診療・専門診療の医療機関と連携 ○ 全国がん登録に協力

標準的診療	
機能	○ 標準的ながん診療機能
目標	○ 診療ガイドラインに準じた治療を実施 ○ 精密検査や確定診断等を実施 ○ 標準的ながん治療を施行 ○ がん治療の合併症予防や軽減を図る ○ 専門的ながん治療を受けた患者に対して、治療後のフォローアップを実施 ○ がんと診断された時から緩和ケアを実施 ○ がん性疼痛等の身体症状の緩和、精神心理的な問題への対応が可能 ○ 各職種の専門性を活かし、医療従事者間の連携と補完を重視した多職種でのチーム医療を実施
求められる事項	次の事項を含め関係する診療ガイドラインに則した診療を実施 ○ 血液検査、画像診断（エックス線検査、内視鏡検査、CT検査、超音波検査、MRI検査、核医学検査等）及び病理検査等の診断・治療に必要な検査が実施可能 ○ 病理診断や画像診断等の診断が実施可能 ○ 患者の状態や価値観、がんの病態に応じて、手術療法（内視鏡的治療を含む）化学療法、緩和ケアが実施可能 ○ がんと診断された時から緩和ケアが実施可能 ○ がん患者の病態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう、カンサーボードを設置し、月1回以上、開催 ○ 仕事と治療の両立支援や就職支援、がん経験者の就労継続支援の取組をがん患者に提供できるよう周知 ○ がん治療の合併症予防や軽減を図るため、術期の口腔管理を実施する病院内の歯科や歯科医療機関と連携を図る ○ 専門的ながん診療機能や在宅療養支援機能を有する医療機関等と診療情報や治療計画を共有するなどして連携可能（地域連携クリティカルパス、退院後の緩和ケア計画を含む） ○ 全国がん登録に協力

専門診療	
機能	○ 専門的ながん診療機能
目標	○ 診療ガイドラインに準じた治療を実施 ○ 患者の状態や価値観、がんの病態に応じて、手術療法、放射線療法及び化学療法等やこれらを組み合わせた集学的治療を実施 ○ がんと診断された時から緩和ケアの実施とともに緩和ケアチームによる専門的な緩和ケアを実施 ○ がん治療の合併症予防や軽減を図る ○ 身体症状の緩和だけでなく精神心理的問題への対応を含めた全人的緩和ケアを提供 ○ 各職種の専門性を活かし、医療従事者間の連携と補完を重視した多職種でのチーム医療を実施
求められる事項	次の事項を含め関係する診療ガイドラインに則した診療を実施 ○ 血液検査、画像診断（エックス線検査、内視鏡検査、CT検査、超音波検査、MRI検査、核医学検査等）及び病理検査等の、診断・治療に必要な専門的な検査が実施可能

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 病理診断や画像診断等専門的診断が実施可能 ○ 患者の状態や価値観、がんの病態に応じて、手術療法（内視鏡的治療を含む）、放射線療法及び化学療法等やこれらを組み合わせた集学的治療及び緩和ケアが実施可能（化学療法については外来でも実施可能） ○ 患者の治療方針の決定に際し、異なる専門分野間の定期的なカンファレンス等を実施、連携 ○ がんと診断された時から緩和ケアを実施 ○ 専門的な緩和ケアチームを配置 ○ 専門的な緩和ケアを外来で実施可能 ○ がん患者の病態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう、カンサーボードを設置し、月1回以上、開催 ○ 治療法の選択等に関してセカンドオピニオンが実施可能 ○ 喪失機能のリハビリテーションが実施可能 ○ 仕事と治療の両立支援や就職支援、がん経験者の就労継続支援の取組をがん患者に提供できるよう周知 ○ がん治療の合併症予防や軽減を図るため、周術期の口腔管理を実施する病院内の歯科や歯科医療機関と連携を図る ○ 標準的ながん診療機能や在宅療養支援機能を有する医療機関等と診療情報や治療計画を共有するなどして連携可能（地域連携クリティカルパス、退院後の緩和ケアを含む） ○ 全国がん登録に協力 <p>※さらにながん診療連携拠点病院としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各職種の専門性を活かし、医療従事者間の連携と補完を重視した多職種でのチーム医療を実施 ○ 患者とその家族の意向に応じて、専門的な知識を有する第三者の立場にある医師の意見を求めることができるセカンドオピニオンが受けられる ○ 相談支援の体制を確保し、情報収集・発信、患者・家族の交流の支援等を実施（その際、小児・AYA世代のがん、希少がん、難治性がん等に関する情報についても提供できるよう留意） ○ がんと診断された時から緩和ケアを実施（緩和ケアチームの整備や外来での緩和ケアを実施し、患者とその家族に対して、身体的な苦痛及び精神心理的な苦痛等に対する全人的な緩和ケアを提供） ○ 地域連携支援体制を確保するため、病院間の役割分担を進めるとともに、研修、カンファレンス、診療支援、地域連携クリティカルパス等の活用や、急変時の対応も含め、他のがん診療機能や在宅療養支援機能を有している医療機関等と連携 ○ 院内がん登録を実施し、全国がん登録へ積極的に協力（へき地医療拠点病院）
--	---

療養支援		
機能	○ 在宅療養支援機能	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ がん患者やその家族の意向を踏まえ、在宅等の生活の場での療養を選択可能 ○ 在宅緩和ケアを実施 	
求められる事項	入院可能	<ul style="list-style-type: none"> ○ がん疼痛等に対する緩和ケアが実施可能 ○ 専門的ながん診療機能や標準的ながん診療機能を有する医療機関等と診療情報や治療計画を共有するなどして連携可能（地域連携クリティカルパス、退院後の緩和ケア計画を含む） ○ 医薬用麻薬を提供可能 ○ 全国がん登録に協力 ○ 24時間対応が可能な在宅医療を提供 ○ 看取りを含めた人生の最終段階におけるケアを24時間体制で提供
	外来・往診のみ	<ul style="list-style-type: none"> ○ がん疼痛等に対する緩和ケアが実施可能 ○ 専門的ながん診療機能や標準的ながん診療機能を有する医療機関等と診療情報や治療計画を共有するなどして連携可能（地域連携クリティカルパス、退院後の緩和ケア計画を含む） ○ 医薬用麻薬を提供可能 ○ 全国がん登録に協力 ○ 後方支援医療機関と連携 <p>※以下は実施することが望ましい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 24時間対応が可能な在宅医療を提供 ○ 看取りを含めた人生の最終段階におけるケアを24時間体制で提供

肺がんの医療機能

初期診療（予防・検診）	
機能	○ がんを早期発見する機能
目標	○ 喫煙などがん発症のリスクを低減 ○ 科学的根拠に基づくがん検診の実施、精度管理・事業評価の実施及びがん検診受診率を向上 ○ 肺がんの早期発見
求められる事項	○ 検診を実施 ○ 初期診療を実施 ○ 検診の結果をフィードバックするなど、がん検診等の精度管理に協力 ○ 全国がん登録に協力 ○ 標準的診療・専門診療の医療機関と連携 ○ 敷地内禁煙の実施等のたばこ対策に積極的に取り組む

標準的診療	
機能	○ 標準的ながん診療機能
目標	○ 診療ガイドラインに準じた治療を実施 ○ 精密検査や確定診断等を実施 ○ 標準的ながん治療を施行 ○ がん治療の合併症予防や軽減を図る ○ 専門的ながん治療を受けた患者に対して、治療後のフォローアップを実施 ○ がんと診断された時から緩和ケアを実施 ○ がん性疼痛等の身体症状の緩和、精神心理的な問題への対応が可能 ○ 各職種の専門性を活かし、医療従事者間の連携と補完を重視した多職種でのチーム医療を実施
求められる事項	次の事項を含め関係する診療ガイドラインに則した診療を実施 ○ 血液検査、画像診断（エックス線検査、CT検査）、気管支鏡検査及び病理検査等の診断・治療に必要な検査が実施可能 ○ 病理診断や画像診断等の診断が実施可能 ○ 患者の状態や価値観、がんの病態に応じて、手術療法、化学療法、緩和ケアが実施可能 ○ がんと診断された時から緩和ケアが実施可能 ○ 喪失した機能のリハビリテーションが実施可能 ○ がん患者の病態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう、カンサーボードを設置し、月1回以上、開催 ○ 仕事と治療の両立支援や就職支援、がん経験者の就労継続支援の取組をがん患者に提供できるよう周知 ○ がん治療の合併症予防や軽減を図るため、術期の口腔管理を実施する病院内の歯科や歯科医療機関と連携を図る ○ 専門的ながん診療機能や在宅療養支援機能を有する医療機関等と診療情報や治療計画を共有するなどして連携可能（地域連携クリティカルパス、退院後の緩和ケア計画を含む） ○ 全国がん登録に協力

専門診療	
機能	○ 専門的ながん診療機能
目標	○ 診療ガイドラインに準じた治療を実施 ○ 患者の状態や価値観、がんの病態に応じて、手術療法、放射線療法及び化学療法等やこれらを組み合わせた集学的治療を実施 ○ がんと診断された時から緩和ケアの実施とともに緩和ケアチームによる専門的な緩和ケアを実施 ○ 身体症状の緩和だけでなく精神心理的問題への対応を含めた全人的緩和ケアを提供 ○ がん治療の合併症予防や軽減を図る ○ 各職種の専門性を活かし、医療従事者間の連携と補完を重視した多職種でのチーム医療を実施
求められる事項	次の事項を含め関係する診療ガイドラインに則した診療を実施 ○ 血液検査、画像診断（エックス線検査、CT検査、超音波検査、MRI検査、核医学検査）、気管支鏡検査及び病理検査等の、診断・治療に必要な専門的な検査が実施可能 ○ 病理診断や画像診断等専門的診断が実施可能 ○ 患者の状態や価値観、がんの病態に応じて、手術療法、放射線療法及び化学療法等やこれらを組み

	<p>合わせた集学的治療及び緩和ケアが実施可能（化学療法については外来でも実施可能）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 患者の治療方針の決定に際し、異なる専門分野間の定期的なカンファレンス等を実施、連携 ○ がんと診断された時から緩和ケアを実施 ○ 専門的な緩和ケアチームを配置 ○ 専門的な緩和ケアを外来で実施可能 ○ がん患者の病態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう、カンサーボードを設置し、月1回以上、開催 ○ 治療法の選択等に関してセカンドオピニオンが実施可能 ○ 喪失機能のリハビリテーションが実施可能 ○ 仕事と治療の両立支援や就職支援、がん経験者の就労継続支援の取組をがん患者に提供できるよう周知 ○ がん治療の合併症予防や軽減を図るため、周術期の口腔管理を実施する病院内の歯科や歯科医療機関と連携を図る ○ 標準的ながん診療機能や在宅療養支援機能を有する医療機関等と診療情報や治療計画を共有するなどして連携可能（地域連携クリティカルパス、退院後の緩和ケアを含む） ○ 全国がん登録に協力 <p>※さらにながん診療連携拠点病院としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各職種の専門性を活かし、医療従事者間の連携と補完を重視した多職種でのチーム医療を実施 ○ 患者とその家族の意向に応じて、専門的な知識を有する第三者の立場にある医師の意見を求めることができるセカンドオピニオンが受けられる ○ 相談支援の体制を確保し、情報収集・発信、患者・家族の交流の支援等を実施（その際、小児・AYA世代のがん、希少がん、難治性がん等に関する情報についても提供できるよう留意） ○ がんと診断された時から緩和ケアを実施（緩和ケアチームの整備や外来での緩和ケアを実施し、患者とその家族に対して、身体的な苦痛及び精神心理的な苦痛等に対する全人的な緩和ケアを提供） ○ 地域連携支援体制を確保するため、病院間の役割分担を進めるとともに、研修、カンファレンス、診療支援、地域連携クリティカルパス等の活用や、急変時の対応も含め、他のがん診療機能や在宅療養支援機能を有している医療機関等と連携 ○ 院内がん登録を実施し、全国がん登録へ積極的に協力
--	---

療養支援		
機能	○ 在宅療養支援機能	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ がん患者やその家族の意向を踏まえ、在宅等の生活の場での療養を選択可能 ○ 在宅緩和ケアを実施 	
求められる事項	入院可能	<ul style="list-style-type: none"> ○ がん疼痛等に対する緩和ケアが実施可能 ○ 専門的ながん診療機能や標準的ながん診療機能を有する医療機関等と診療情報や治療計画を共有するなどして連携可能（地域連携クリティカルパス、退院後の緩和ケア計画を含む） ○ 医薬用麻薬を提供可能 ○ 全国がん登録に協力 ○ 24時間対応が可能な在宅医療を提供 ○ 看取りを含めた人生の最終段階におけるケアを24時間体制で提供
	外来・往診のみ	<ul style="list-style-type: none"> ○ がん疼痛等に対する緩和ケアが実施可能 ○ 専門的ながん診療機能や標準的ながん診療機能を有する医療機関等と診療情報や治療計画を共有するなどして連携可能（地域連携クリティカルパス、退院後の緩和ケア計画を含む） ○ 医薬用麻薬を提供可能 ○ 全国がん登録に協力 ○ 後方支援医療機関と連携 <p>※以下は実施することが望ましい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 24時間対応が可能な在宅医療を提供 ○ 看取りを含めた人生の最終段階におけるケアを24時間体制で提供

乳がんの医療機能

初期診療（予防・検診）	
機能	○ がんを早期発見する機能
目標	○ 生活指導などがん発症のリスクを低減 ○ 科学的根拠に基づくがん検診の実施、精度管理・事業評価の実施及びがん検診受診率を向上 ○ 乳がんの早期発見
求められる事項	○ 検診を実施 ○ 初期診療を実施 ○ 検診の結果をフィードバックするなど、がん検診等の精度管理に協力 ○ 全国がん登録に協力 ○ 標準的診療・専門診療の医療機関と連携

標準的診療	
機能	○ 標準的ながん診療機能
目標	○ 診療ガイドラインに準じた治療を実施 ○ 精密検査や確定診断等を実施 ○ 専門的ながん治療を受けた患者に対して、治療後のフォローアップを実施 ○ がんと診断された時から緩和ケアを実施 ○ がん治療の合併症予防や軽減を図る ○ がん性疼痛等の身体症状の緩和、精神心理的な問題への対応が可能 ○ 各職種の専門性を活かし、医療従事者間の連携と補完を重視した多職種でのチーム医療を実施
求められる事項	次の事項を含め関係する診療ガイドラインに則した診療を実施 ○ 血液検査、画像診断（エックス線検査、CT検査、超音波検査、MRI検査、核医学検査）及び病理検査等の診断・治療に必要な検査が実施可能 ○ 病理診断や画像診断等の診断が実施可能 ○ 患者の状態や価値観、がんの病態に応じて、手術療法、化学療法、緩和ケアが実施可能 ○ がん患者の病態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう、カンサーボードを設置し、月1回以上、開催 ○ 仕事と治療の両立支援や就職支援、がん経験者の就労継続支援の取組をがん患者に提供できるよう周知 ○ がんと診断された時から緩和ケアが実施可能 ○ がん治療の合併症予防や軽減を図るため、術期の口腔管理を実施する病院内の歯科や歯科医療機関と連携を図る ○ 喪失した機能のリハビリテーションが実施可能 ○ 専門的ながん診療機能や在宅療養支援機能を有する医療機関等と診療情報や治療計画を共有するなどして連携可能（退院後の緩和ケア計画を含む） ○ 全国がん登録に協力 ※以下は実施することが望ましい ○ MMG（マンモグラフィ）を備える ○ 日本乳がん学会認定施設もしくは日本乳がん学会認定医の常勤医 ○ 精中委の認定取得（読影医・撮影装置・放射線技師）

専門診療	
機能	○ 専門的ながん診療機能
目標	○ 診療ガイドラインに準じた治療を実施 ○ 患者の状態や価値観、がんの病態に応じて、手術療法、放射線療法及び化学療法等やこれらを組み合わせた集学的治療を実施 ○ がんと診断された時から緩和ケアの実施とともに緩和ケアチームによる専門的な緩和ケアを実施 ○ がん治療の合併症予防や軽減を図る ○ 身体症状の緩和だけでなく精神心理的問題への対応を含めた全人的緩和ケアを提供 ○ 各職種の専門性を活かし、医療従事者間の連携と補完を重視した多職種でのチーム医療を実施
求められる事項	次の事項を含め関係する診療ガイドラインに則した診療を実施 ○ 血液検査、画像診断（エックス線検査、CT検査、超音波検査、MRI検査、核医学検査）及び病

	<p>理検査等の、診断・治療に必要な専門的な検査が実施可能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 病理診断や画像診断等専門的診断が実施可能 ○ 患者の状態や価値観、がんの病態に応じて、手術療法、放射線療法及び化学療法等やこれらを組み合わせた集学的治療及び緩和ケアが実施可能（化学療法については外来でも実施可能） ○ がん患者の病態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう、カンサーボードを設置し、月1回以上、開催 ○ 患者の治療方針の決定に際し、異なる専門分野間の定期的なカンファレンス等を実施、連携 ○ 仕事と治療の両立支援や就職支援、がん経験者の就労継続支援の取組をがん患者に提供できるよう周知 ○ がんと診断された時から緩和ケアを実施 ○ がん治療の合併症予防や軽減を図るため、周術期の口腔管理を実施する病院内の歯科や歯科医療機関と連携を図る ○ 専門的な緩和ケアチームを配置 ○ 専門的な緩和ケアを外来で実施可能 ○ 治療法の選択等に関してセカンドオピニオンが実施可能 ○ 喪失機能のリハビリテーションが実施可能 ○ 標準的ながん診療機能や在宅療養支援機能を有する医療機関等と診療情報や治療計画を共有するなどして連携可能（退院後の緩和ケアを含む） ○ 全国がん登録に協力 <p>※さらにはがん診療連携拠点病院としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各職種の専門性を活かし、医療従事者間の連携と補完を重視した多職種でのチーム医療を実施 ○ 患者とその家族の意向に応じて、専門的な知識を有する第三者の立場にある医師の意見を求めることができるセカンドオピニオンが受けられる ○ 相談支援の体制を確保し、情報収集・発信、患者・家族の交流の支援等を実施（その際、小児・AYA世代のがん、希少がん、難治性がん等に関する情報についても提供できるよう留意） ○ がんと診断された時から緩和ケアを実施（緩和ケアチームの整備や外来での緩和ケアを実施し、患者とその家族に対して、身体的な苦痛及び精神心理的な苦痛等に対する全人的な緩和ケアを提供） ○ 地域連携支援体制を確保するため、病院間の役割分担を進めるとともに、研修、カンファレンス、診療支援、地域連携クリティカルパス等の活用や、急変時の対応も含め、他のがん診療機能や在宅療養支援機能を有している医療機関等と連携 ○ 院内がん登録を実施し、全国がん登録へ積極的に協力 ○ 日本乳がん学会専門医の常勤医を配置
--	---

療養支援		
機能	○ 在宅療養支援機能	
目標	○ がん患者やその家族の意向を踏まえ、在宅等の生活の場での療養を選択可能 ○ 在宅緩和ケアを実施	
求められる事項	入院可能	<ul style="list-style-type: none"> ○ がん疼痛等に対する緩和ケアが実施可能 ○ 専門的ながん診療機能や標準的ながん診療機能を有する医療機関等と診療情報や治療計画を共有するなどして連携可能（地域連携クリティカルパス、退院後の緩和ケア計画を含む） ○ 医薬用麻薬を提供可能 ○ 全国がん登録に協力 ○ 24時間対応が可能な在宅医療を提供 ○ 看取りを含めた人生の最終段階におけるケアを24時間体制で提供
	外来・往診のみ	<ul style="list-style-type: none"> ○ がん疼痛等に対する緩和ケアが実施可能 ○ 専門的ながん診療機能や標準的ながん診療機能を有する医療機関等と診療情報や治療計画を共有するなどして連携可能（地域連携クリティカルパス、退院後の緩和ケア計画を含む） ○ 医薬用麻薬を提供可能 ○ 全国がん登録に協力 ○ 後方支援医療機関と連携 <p>※以下は実施することが望ましい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 24時間対応が可能な在宅医療を提供 ○ 看取りを含めた人生の最終段階におけるケアを24時間体制で提供

子宮がんの医療機能

初期診療（予防・検診）					
機能	<ul style="list-style-type: none"> ○ がんを予防する機能 ○ がんを早期発見する機能 				
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ がんと関連するウイルスの感染予防などがんのリスクを低減 ○ 科学的根拠に基づくがん検診の実施、精度管理・事業評価の実施及びがん検診受診率を向上 ○ 子宮がんの早期発見 				
求められる事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子宮頸がん予防ワクチンの実施 ○ 検診を実施 ○ 初期診療を実施 ○ 検診の結果をフィードバックするなど、がん検診等の精度管理に協力 ○ 標準的診療・専門診療の医療機関と連携 ○ 検診事業において、行政と連携体制を構築 ○ 全国がん登録に協力 				
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;">予防</td> <td>子宮頸がん予防ワクチン接種機関</td> </tr> <tr> <td>検診</td> <td>検診機関</td> </tr> </table>	予防	子宮頸がん予防ワクチン接種機関	検診	検診機関
予防	子宮頸がん予防ワクチン接種機関				
検診	検診機関				

標準的診療	
機能	<ul style="list-style-type: none"> ○ 標準的ながん診療機能
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 診療ガイドラインに準じた治療を実施 ○ 精密検査や確定診断等を実施 ○ 専門的ながん治療を受けた患者に対して、治療後のフォローアップを実施 ○ がんと診断された時から緩和ケアを実施 ○ がん治療の合併症予防や軽減を図る ○ がん性疼痛等の身体症状の緩和、精神心理的な問題への対応が可能 ○ 各職種の専門性を活かし、医療従事者間の連携と補完を重視した多職種でのチーム医療を実施
求められる事項	<p>次の事項を含め関係する診療ガイドラインに則した診療を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 血液検査、画像診断（エックス線検査、CT検査、MRI検査、核医学検査）及び病理検査等の診断・治療に必要な検査が実施可能 ○ 病理診断や画像診断等の診断が実施可能 ○ 患者の状態や価値観、がんの病態に応じて、手術療法、化学療法、緩和ケアが実施可能 ○ がん患者の病態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう、カンサーボードを設置し、月1回以上、開催 ○ 仕事と治療の両立支援や就職支援、がん経験者の就労継続支援の取組をがん患者に提供できるよう周知 ○ がんと診断された時から緩和ケアを実施 ○ がん治療の合併症予防や軽減を図るため、周期期の口腔管理を実施する病院内の歯科や歯科医療機関と連携を図る ○ 喪失した機能のリハビリテーションが実施可能 ○ 専門的ながん診療機能や在宅療養支援機能を有する医療機関等と診療情報や治療計画を共有するなどして連携可能（退院後の緩和ケア計画を含む） ○ 全国がん登録に協力

専門診療	
機能	<ul style="list-style-type: none"> ○ 専門的ながん診療機能
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 診療ガイドラインに準じた治療を実施 ○ 患者の状態や価値観、がんの病態に応じて、手術療法、放射線療法及び化学療法等やこれらを組み合わせた集学的治療を実施 ○ がんと診断された時から緩和ケアの実施とともに緩和ケアチームによる専門的な緩和ケアを実施 ○ がん治療の合併症予防や軽減を図る ○ 身体症状の緩和だけでなく精神心理的問題への対応を含めた全人的緩和ケアを提供 ○ 各職種の専門性を活かし、医療従事者間の連携と補完を重視した多職種でのチーム医療を実施
求められる事項	<p>次の事項を含め関係する診療ガイドラインに則した診療を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 血液検査、画像診断（エックス線検査、CT検査、超音波検査、MRI検査、核医学検査）及び病理検査等の、診断・治療に必要な専門的な検査が実施可能

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 病理診断や画像診断等専門的診断が実施可能 ○ 患者の状態や価値観、がんの病態に応じて、手術療法、放射線療法及び化学療法等やこれらを組み合わせた集学的治療及び緩和ケアが実施可能（化学療法については外来でも実施可能） ○ がん患者の病態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう、カンサーボードを設置し、月1回以上、開催 ○ 患者の治療方針の決定に際し、異なる専門分野間の定期的なカンファレンス等を実施、連携 ○ 仕事と治療の両立支援や就職支援、がん経験者の就労継続支援の取組をがん患者に提供できるよう周知 ○ がんと診断された時から緩和ケアを実施 ○ がん治療の合併症予防や軽減を図るため、周術期の口腔管理を実施する病院内の歯科や歯科医療機関と連携を図る ○ 専門的な緩和ケアチームを配置 ○ 専門的な緩和ケアを外来で実施可能 ○ 治療法の選択等に関してセカンドオピニオンが実施可能 ○ 喪失機能のリハビリテーションが実施可能 ○ 標準的ながん診療機能や在宅療養支援機能を有する医療機関等と診療情報や治療計画を共有するなどして連携可能（退院後の緩和ケアを含む） ○ 全国がん登録に協力 <p>※さらにながん診療連携拠点病院としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各職種の専門性を活かし、医療従事者間の連携と補完を重視した多職種でのチーム医療を実施 ○ 患者とその家族の意向に応じて、専門的な知識を有する第三者の立場にある医師の意見を求めることができるセカンドオピニオンが受けられる ○ 相談支援の体制を確保し、情報収集・発信、患者・家族の交流の支援等を実施（その際、小児・AYA世代のがん、希少がん、難治性がん等に関する情報についても提供できるよう留意） ○ がんと診断された時から緩和ケアを実施（緩和ケアチームの整備や外来での緩和ケアを実施し、患者とその家族に対して、身体的な苦痛及び精神心理的な苦痛等に対する全人的な緩和ケアを提供） ○ 地域連携支援体制を確保するため、病院間の役割分担を進めるとともに、研修、カンファレンス、診療支援、地域連携クリティカルパス等の活用や、急変時の対応も含め、他のがん診療機能や在宅療養支援機能を有している医療機関等と連携 ○ 院内がん登録を実施し、全国がん登録へ積極的に協力
--	--

療養支援		
機能	○ 在宅療養支援機能	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ がん患者やその家族の意向を踏まえ、在宅等の生活の場での療養を選択可能 ○ 在宅緩和ケアを実施 	
求められる事項	入院可能	<ul style="list-style-type: none"> ○ がん疼痛等に対する緩和ケアが実施可能 ○ 専門的ながん診療機能や標準的ながん診療機能を有する医療機関等と診療情報や治療計画を共有するなどして連携可能（地域連携クリティカルパス、退院後の緩和ケア計画を含む） ○ 医薬用麻薬を提供可能 ○ 全国がん登録に協力 ○ 24時間対応が可能な在宅医療を提供 ○ 看取りを含めた人生の最終段階におけるケアを24時間体制で提供
	外来・往診のみ	<ul style="list-style-type: none"> ○ がん疼痛等に対する緩和ケアが実施可能 ○ 専門的ながん診療機能や標準的ながん診療機能を有する医療機関等と診療情報や治療計画を共有するなどして連携可能（地域連携クリティカルパス、退院後の緩和ケア計画を含む） ○ 医薬用麻薬を提供可能 ○ 全国がん登録に協力 ○ 後方支援医療機関と連携 <p>※以下は実施することが望ましい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 24時間対応が可能な在宅医療を提供 ○ 看取りを含めた人生の最終段階におけるケアを24時間体制で提供

肝臓がんの医療機能

初期診療（予防・検診）	
機能	<ul style="list-style-type: none"> ○ がんを早期発見する機能 ○ ハイリスク患者の抽出
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ がんに関連するウイルスの感染予防などがんのリスクを低減 ○ ハイリスク患者（肝炎ウイルスキャリア、常習飲酒家、脂肪性肝障害）を発見し、継続的にフォローする ○ 科学的根拠に基づくがん検診の実施、精度管理・事業評価の実施及びがん検診受診率を向上 ○ 肝炎ウイルス検診の受診率を向上 ○ 肝臓がんの早期発見
求められる事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ がん及び慢性肝疾患に係るスクリーニングあるいは精密検査を実施 ○ 肝炎ウイルス検診の精度管理に協力 ○ 全国がん登録に協力 ○ 標準的診療・専門診療の医療機関と連携

標準的診療	
機能	<ul style="list-style-type: none"> ○ 標準的ながん診療機能
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 診療ガイドラインに準じた治療を実施 ○ 精密検査や確定診断等を実施 ○ 専門的ながん治療を受けた患者に対して、治療後のフォローアップを実施 ○ 慢性肝疾患の治療・フォローが可能 ○ がんと診断された時から緩和ケアを実施 ○ がん治療の合併症予防や軽減を図る ○ がん性疼痛等の身体症状の緩和、精神心理的な問題への対応が可能 ○ 各職種の専門性を活かし、医療従事者間の連携と補完を重視した多職種でのチーム医療を実施
求められる事項	<p>次の事項を含め関係する診療ガイドラインに則した診療を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ がんと診断された時から緩和ケアを実施 ○ 専門的ながん診療機能や在宅療養支援機能を有する医療機関等と、診療情報や治療計画を共有するなどして連携可能（地域連携クリティカルパス、退院後の緩和ケア計画を含む） ○ がん患者の病態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう、カンサーボードを設置し、月1回以上、開催 ○ 仕事と治療の両立支援や就職支援、がん経験者の就労継続支援の取組をがん患者に提供できるよう周知 ○ がん治療の合併症予防や軽減を図るため、周術期の口腔管理を実施する病院内の歯科や歯科医療機関と連携を図る ○ 全国がん登録に協力 <p>※診療所では以下の実施が可能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 血液検査、腹部超音波検査等の診断・治療に必要な検査が実施可能 <p>※病院では以下の実施が可能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 血液検査、画像診断（エックス線検査、CT検査、MRI検査、核医学検査等）及び病理検査等の診断・治療に必要な検査が実施可能 ○ 病理診断や画像診断等の診断が実施可能 ○ 局所療法（ラジオ波焼灼療法・エタノール局注療法等）、化学療法、緩和ケアが実施可能

専門診療	
機能	<ul style="list-style-type: none"> ○ 専門的ながん診療機能
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 診療ガイドラインに準じた治療を実施 ○ 患者の状態や価値観、がんの病態に応じて、手術療法、放射線療法及び化学療法等やこれらを組み合わせた集学的治療を実施 ○ がんと診断された時から緩和ケアまで複数の診療科と多職種による専門的なチーム医療を実施 ○ がん治療の合併症予防や軽減を図る ○ 身体症状の緩和だけでなく精神心理的問題への対応を含めた全人的緩和ケアを提供

求められる事項	<p>次の事項を含め関係する診療ガイドラインに則した診療を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 血液検査、画像診断（エックス線検査、CT検査、超音波検査、MRI検査、核医学検査等）及び病理検査等の、診断・治療に必要な専門的な検査が実施可能 ○ 病理診断や画像診断等専門的診断が実施可能 ○ 患者の状態や価値観、がんの病態に応じて、手術療法）、放射線療法及び化学療法等やこれらを組み合わせた集学的治療及び緩和ケアが実施可能（化学療法については外来でも実施可能） ○ 肝移植実施施設との連携が可能（県内では山口大学医学部附属病院が生体肝移植の施行認定施設） ○ 患者の治療方針の決定に際し、異なる専門分野間の定期的なカンファレンス等を実施、連携 ○ がんと診断された時から緩和ケアを実施 ○ 専門的な緩和ケアチームを配置 ○ 専門的な緩和ケアを外来で実施可能 ○ がん患者の病態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう、カンサーボードを設置し、月1回以上、開催 ○ 治療法の選択等に関してセカンドオピニオンが実施可能 ○ 仕事と治療の両立支援や就職支援、がん経験者の就労継続支援の取組をがん患者に提供できるよう周知 ○ がん治療の合併症予防や軽減を図るため、周術期の口腔管理を実施する病院内の歯科や歯科医療機関と連携を図る ○ 標準的ながん診療機能や在宅療養支援機能を有する医療機関等と診療情報や治療計画を共有するなどして連携可能（退院後の緩和ケアを含む） ○ 全国がん登録に協力 <p>※さらにながん診療連携拠点病院としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各職種の専門性を活かし、医療従事者間の連携と補完を重視した多職種でのチーム医療を実施 ○ 患者とその家族の意向に応じて、専門的な知識を有する第三者の立場にある医師の意見を求めることができるセカンドオピニオンが受けられる ○ 相談支援の体制を確保し、情報収集・発信、患者・家族の交流の支援等を実施（その際、小児・AYA世代のがん、希少がん、難治性がん等に関する情報についても提供できるよう留意） ○ がんと診断された時から緩和ケアを実施（緩和ケアチームの整備や外来での緩和ケアを実施し、患者とその家族に対して、身体的な苦痛及び精神心理的な苦痛等に対する全人的な緩和ケアを提供） ○ 地域連携支援体制を確保するため、病院間の役割分担を進めるとともに、研修、カンファレンス、診療支援、地域連携クリティカルパス等の活用や、急変時の対応も含め、他のがん診療機能や在宅療養支援機能を有している医療機関等と連携 ○ 院内がん登録を実施し、全国がん登録へ積極的に協力
---------	---

療養支援					
機能	○ 在宅療養支援機能				
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ がん患者やその家族の意向を踏まえ、在宅等の生活の場での療養を選択可能 ○ 在宅緩和ケアを実施 				
求められる事項	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; background-color: #ADD8E6;">入院可能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ がん疼痛等に対する緩和ケアが実施可能 ○ 専門的ながん診療機能や標準的ながん診療機能を有する医療機関等と診療情報や治療計画を共有するなどして連携可能（地域連携クリティカルパス、退院後の緩和ケア計画を含む） ○ 医薬用麻薬を提供可能 ○ 全国がん登録に協力 ○ 24時間対応が可能な在宅医療を提供 ○ 看取りを含めた人生の最終段階におけるケアを24時間体制で提供 </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #ADD8E6;">外来・往診のみ</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ がん疼痛等に対する緩和ケアが実施可能 ○ 専門的ながん診療機能や標準的ながん診療機能を有する医療機関等と診療情報や治療計画を共有するなどして連携可能（地域連携クリティカルパス、退院後の緩和ケア計画を含む） ○ 医薬用麻薬を提供可能 ○ 全国がん登録に協力 ○ 後方支援医療機関と連携 <p>※以下は実施することが望ましい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 24時間対応が可能な在宅医療を提供 ○ 看取りを含めた人生の最終段階におけるケアを24時間体制で提供 </td> </tr> </table>	入院可能	<ul style="list-style-type: none"> ○ がん疼痛等に対する緩和ケアが実施可能 ○ 専門的ながん診療機能や標準的ながん診療機能を有する医療機関等と診療情報や治療計画を共有するなどして連携可能（地域連携クリティカルパス、退院後の緩和ケア計画を含む） ○ 医薬用麻薬を提供可能 ○ 全国がん登録に協力 ○ 24時間対応が可能な在宅医療を提供 ○ 看取りを含めた人生の最終段階におけるケアを24時間体制で提供 	外来・往診のみ	<ul style="list-style-type: none"> ○ がん疼痛等に対する緩和ケアが実施可能 ○ 専門的ながん診療機能や標準的ながん診療機能を有する医療機関等と診療情報や治療計画を共有するなどして連携可能（地域連携クリティカルパス、退院後の緩和ケア計画を含む） ○ 医薬用麻薬を提供可能 ○ 全国がん登録に協力 ○ 後方支援医療機関と連携 <p>※以下は実施することが望ましい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 24時間対応が可能な在宅医療を提供 ○ 看取りを含めた人生の最終段階におけるケアを24時間体制で提供
入院可能	<ul style="list-style-type: none"> ○ がん疼痛等に対する緩和ケアが実施可能 ○ 専門的ながん診療機能や標準的ながん診療機能を有する医療機関等と診療情報や治療計画を共有するなどして連携可能（地域連携クリティカルパス、退院後の緩和ケア計画を含む） ○ 医薬用麻薬を提供可能 ○ 全国がん登録に協力 ○ 24時間対応が可能な在宅医療を提供 ○ 看取りを含めた人生の最終段階におけるケアを24時間体制で提供 				
外来・往診のみ	<ul style="list-style-type: none"> ○ がん疼痛等に対する緩和ケアが実施可能 ○ 専門的ながん診療機能や標準的ながん診療機能を有する医療機関等と診療情報や治療計画を共有するなどして連携可能（地域連携クリティカルパス、退院後の緩和ケア計画を含む） ○ 医薬用麻薬を提供可能 ○ 全国がん登録に協力 ○ 後方支援医療機関と連携 <p>※以下は実施することが望ましい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 24時間対応が可能な在宅医療を提供 ○ 看取りを含めた人生の最終段階におけるケアを24時間体制で提供 				